



ゆうだい21広報ポスター制作プロジェクト

新米の時期に合わせて、本学開発米「ゆうだい21」を広報するためのポスターを制作しました。ゆうだい21のおにぎりを食べる子どもの写真をポスターにすることとし、本学関係者を対象にキッズモデルを募集しました。

応募者には「おいしそうにおにぎりを食べる」とい

うテーマでお子様の写真をお送りいただき、審査の結果2名のキッズモデルを決定しました。

9月上旬、秋晴れのもと、農学部附属農場の黄色く実ったゆうだい21の稲穂の側で、キッズモデルがおにぎりを食べる様子を撮影しました。完成したポスターは、10月25日からJR宇都宮駅に掲示されています。



完成したゆうだい21ポスター



キッズモデル入賞者のみなさん

REALと群馬大学CRANTSが連携協力協定を締結

REAL（ロボティクス・工農技術研究所）は、9月26日に群馬大学CRANTS（次世代モビリティ社会実装研究センター）と連携協力協定を締結しました。次世代モビリティやロボット、工農技術に関する研究を推進し、社会実装を強化することが目的です。また、教育研究活動においても相互に支援を行うため、緊密に連携していきます。今年度中には、REALの自律走行ロボットを活用した物流自動化の分野で協力を進め、様々な社会課題の解決を目指します。



尾崎REAL所長（左）と群馬大学の天谷センター長

過去最大規模のコラボレーション・フェア開催

9月20日、マロニエプラザ大展示場で県内最大級の産学官金連携イベント「宇都宮大学コラボレーション・フェア」を開催しました。第5回目となる今年度は、出展数300件、来場者数781名と、過去最多となりました。

産学官金それぞれの立場から、シーズ（研究成果・技術等）やニーズ（社会・企業課題等）、連携の取組事例の展示や、本学地域経営研究会によるセミナーなどが行われました。地域活性化と新ビジネスの創出につながることを期待されます。



REAL開発の自走ロボット 初めてLRTに乗車

6月1日、LRT（次世代型路面電車）を利用した中距離自動配送システムの実証実験を行いました。今回の実験は、宇都宮市と芳賀町を結ぶLRTにロボットが乗り込むことで、両市町間の自動配送システムの構築を目指したものです。

障害物を認識しながら自走する2台のロボットは、JR宇都宮駅東口の連絡通路で弁当を積み、LRTに乗車。芳賀町かしの森公園前停留場で下車し、近くの公園までの輸送に成功しました。今回の実験結果をもとにロボットの性能を高め、人手不足が深刻な物流分野への貢献が期待されています。



(有) リストリクトと連携協力協定を締結

9月19日、宇都宮市を中心に展開する衣料品のセレクトショップ「ARKnets（アークネッツ）」を運営する有限会社リストリクトと連携協力協定を締結しました。

この協定は、両者の資源を有効活用することによる地域人材の育成や、地域産業の振興を目的としています。今後、学生のインターンシップや実習の実施、大学グッズの制作に学生が関わることによる教育効果、宇都宮大学の講座や大学基金への協力など、多くのメリットが期待されます。



伊勢代表取締役（左）と池田学長

データサイエンス経営学部がスタート

4月に本学の6つ目の学部「データサイエンス経営学部」が誕生しました。同学部は地域経済や産業界と連携し、「データサイエンス力」「マネジメント力」「社会実装力」を養い、社会で活躍できる人材を育成します。

5月25日、学部開設記念式典が開催され、文部科学省や栃木県内の自治体などの関係者、新入生、専任教員が出席しました。池田学長が挨拶し、株式会社TKCの飯塚真玄名誉会長をはじめとする来賓の方々から祝辞をいただきました。その後、長谷川光司学部長が学部の概要説明を行い、専任教員16名の紹介が行われました。



データサイエンス経営学部の新入生と専任教員



ライトキューブ宇都宮での記念式典

池田学長の再任決定

今年度末の池田学長の任期満了に伴い、再任審査が行われ、池田学長の再任が決定しました。次の任期は令和7年4月1日から令和9年3月31日の2年間です。宇都宮大学は、今後も池田学長のリーダーシップのもと、地域の信頼に応え、未来社会に向けた人材育成と研究を通じて、Well-being社会の実現を目指します。

